

受賞のことば

日本小児循環器学会では平成27年より公益財団法人宮田心臓病研究振興基金からの寄付を受け、「Miyata Foundation Award 日本小児循環器学会研究奨励賞」を設立しました。6回目となる本年度は仲岡英幸先生（富山大学医学部小児科）、山本一希先生（慶應義塾大学大学院博士課程医学研究科 小児科学）が受賞され、11月の学術集会時に表彰式が開催されました。

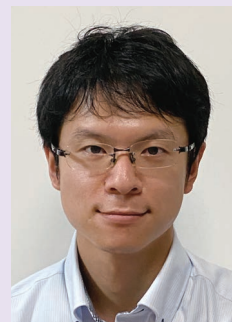


仲岡 英幸 先生

富山大学医学部小児科

この度は、第6回Miyata Foundation Award 日本小児循環器学会研究奨励賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。宮田宏章理事長をはじめ公益財団法人宮田心臓病研究振興基金の方々、また選考に携わっていただきました諸先生に深く御礼申し上げます。

我々の研究は川崎病の病態が全身の血管炎であることから、血管内皮細胞傷害で遊離される血管微小粒子（Endothelial microparticles (EMPs)）に着目し研究を続けています。EMPsが川崎病罹患後に冠動脈が拡張する患者を予測する鋭敏なバイオマーカーとなり、川崎病罹患後の冠動脈病変を有する患者において急上昇するEMPsに内在する2種類の特異的なmicroRNA（microRNA-145-5p, microRNA-320a）を同定しました。さらに、*in silico*解析およびヒトの単球/マクロファージの細胞実験においてこの2種類のmicroRNAが川崎病急性期の冠動脈病変の形成に重要な役割を果たすことが示唆されました。引き続き本研究が川崎病罹患後の冠動脈病変形成のメカニズム解明や新たな治療法に繋がるよう努力していく所存です。



山本 一希 先生

慶應義塾大学大学院博士課程医学研究科 小児科学

この度は、栄えある第6回Miyata Foundation Award 日本小児循環器学会研究奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。宮田宏章理事長ならびに公益財団法人宮田心臓病研究振興基金の皆様に感謝し、また私の研究をご評価下さいました坂本喜三郎理事長はじめ日本小児循環器学会の先生方に厚く御礼申し上げます。

私の受賞研究テーマは、「葉酸の心臓流出路発生異常に対する予防効果の検討」です。本研究は、我々の研究室で長く続けている心臓流出路発生異常のメカニズム解明の研究を足がかりに、先天性心疾患の予防に結びつく成果を目指すものです。マウスモデルを用いて、葉酸が心臓流出路の発生異常に及ぼす影響について、表現型の変化と分子メカニズムの両面から明らかにします。臨床医としても研究者としても未熟な身ですが、社会に還元できる結果を残せるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。